

## 一般質問

## 市民の声を反映

令和3年第1回定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。



本会議を市役所ロビー（本庁舎1階）のテレビや市議会ホームページでご覧いただけます

## 防災無線定時放送の時刻変更は



城陽絆の会  
土居 一豊

**問** 市の同報系防災行政無線が令和3年4月から運用開始される。機器点検のための定時放送を毎日18時15分に行うと説明があったが、全国的には子どもたちに帰宅を促すプラス効果を求め17時に放送するところが多い。時刻変更の考えは。

**答** これまで屋外拡声子局を設置する学校等の施設と協議を行い、小・中学校のチャイム放送と重なる時間を避けるため、放送時刻を18時15分と決め了解を得た経緯がある。関係者と再度協議して検討することが必要であり、今しばらく時間

をいただきたい。  
**問** 人口減少が続く本市にとって、転入増に転じるためには、住んでみたいと思われ、清潔で美しいまちづくりの推進も方策の一つとなる。そこで市民の環境保全意識の高揚を図るべく、既存の飼いや犬の糞害防止条例に加えて、ごみやたばこ、空き缶のポイ捨てを禁止する条例を制定してはどうか。

**答** まずは美化に関するマナーを遵守し、ポイ捨てや不法投棄をしない、自分たちのまちを汚さない機運づくりを市民とともに推進することが何より重要であり、機運醸成の取り組みに努める中で、さらに本市に適切な方法の検討を進めていきたいと考えている。

## 基金積み立てへの取り組みは



城陽絆の会  
大西 吉文

**問** 国も財政状況が厳しく交付金にゆとりがないため、地方自治体間の競争に打ち勝つための各自の政策が必要としている。そのためにも、標準財政規模の10%程度まで財政調整基金として積んでいくことが望ましいが、市の取り組みは。

**答** 本市は、打ち勝つまでの途上にあるが、新名神全線開通の好機を生かした大規模プロジェクトを効果あるものにする導かれていくものと考えている。基金残高については、市民サービスのための標準財政規模の5%に当たる7、

8億円程度の確保を財政運営指針に掲げ取り組んでいる。また市税の減収は、給与所得者数の減少により個人市民税が大きく減少していることが最大の要因であり、新たな産業拠点と雇用の創出により増収を図り、自主財源確保につなげたい。

**問** 職員教育について何度か指摘してきたが、改善が見られない。研修に公費を要することを自覚し、市民サービスへの還元を。

**答** 大きく3区分の研修を実施し、職員の能力向上に努めている。研修後に報告書提出を義務づけ効果を見ているが、現場での活用までフォローができておらず、今後実践につながるよう研修の充実・工夫を図りたい。